

側には黄菊白菊取交せたる挿花あり、鑑がて開議となるや大村會長(女子師範學校長)幼稚園事業擴張の件、軍人幼児保管の件會則改正の件に就きて特に臨時會を開きたる旨を宣告し、順次議題に上せしが、會則は會員の集まりには主として保育問題の實際を研究するべしとし、小六かしき議事討論は四十名の常議員を選みて一任するに改正せんとするものにて、細目に就きて議論多岐に分れしが、結局大体を原案の如くに決定し、幼稚園擴張案(菅て東氏の大阪みやげに其細目登載あり)軍人幼児保管の二件は右常議員會の議に附することなし、夫より一同階下の遊戲室に移り四區の保姆各其研究の遊戲を持寄りて演習したり、即ち第一に北區は淺尾みつ子の風琴によりて大寒小さむ、第二に東區は小倉むめ子の洋琴によりて庭の落葉、第三に南區は奥野とも子の風琴によりて雀、第四に西區は志方房子影山たか子のパイオリンによりて菊と紅葉、樂隊遊びを行ひて各自に裨益する所頗る多かりき大阪には亦大阪市保育會又各四區に各保育會あり始終園長保姆等打寄りて保育法の研究をなし、目下東區保育法研究会は男子師範學校の田村教諭を講師として毎週一回博物學を講究し西區保育會は男女兩師範學校兼務の目賀田教諭に毎週一回パイオリンを習ひ南區保育會は先頃心理學の講習をなせしが今完了したれば時々集りて遊戲、手技等の研究をなす北區保育會は最後の成立なるも中々元氣にして各園を廻りて姉妹との聯合協議會を開き又十一月迄男子師範學校の森川教諭を聘して兒童心理學を講習したり、今便は是丈

(しつ、技)

會報

先月の例会。去月十日日本例会を、日本橋區第一幼稚園に開きたり。同園は昨年九月、始めて開園せしものにして、園長は高瀬菊次郎氏 園舎は舊取引所を充用せる由なるが、輪奐、莊麗にして中々整頓せるが如し。

當日は、折節、小雨降り寒空なりしにも係はらず、會せし人々四十五名、始に會員、岸邊氏の自ら實施せられ居る幼稚園の景況等を頗る面白く談話せられ、終て、東基吉氏の幼児の活動のさま々なるあらはれにつきて演説あり、終つて、茶菓を喫しつゝ會談數刻にして散會したり

會費領収

(自明治三十七年十一月二十五日 至全 十二月二十日)

金額	年月日	姓名
一〇〇	三七、九	稻垣實秀
一〇〇	三七、三	村越じう
三〇〇	三六、三	田井朋子
一〇〇	三七、二	前田幸作
一二〇	三七、二	宮地榮
一四〇	三六、一	森山ふさ
一二〇	三六、七	海野きみの